



China

Philippines

Australia

インドネシア沿岸部では、小舟を使用した漁業が営まれている。

現地で水揚げされた縞タコ。近年の日本食ブームにより需要が期待されていた。

日本全国各地発！中小企業のODA  
Series  
**ODA NOW**  
vol.5 IBARAKI

現地工場での縞タコ加工の様子。

縞タコ料理の試食会では、日本ならではのメニューに加えインドネシア風の味付けも提供された。

# “価値の鎖”でインドネシアの水産業に貢献する

インドネシア共和国

「有効利用されていない縞タコの加工・衛生管理技術の普及・実証事業」

2015年12月～2017年8月

茨城県 株式会社あ印

タコやイカ、エビなどの水産物の加工および商品開発や、冷蔵・冷凍食品の企画販売を展開する株式会社あ印。長年にわたり培ってきたその技術とノウハウはODA事業を通じて海を渡り、インドネシアにおける水産業の振興に貢献しています。

## 海洋国家構想を掲げるインドネシア

当社は、1963年に日本で初めて西アフリカ産マダコのボイル加工を開始して以来、タコの食感と風味を引き出す独自の加工技術を強みに事業を拡大してきました。しかし、世界的なタコの需要によって西アフリカ産のタコの原料価格がこの15年で約3倍に高騰し、西アフリカに代わる新たな仕入れ先の確保が急務となっていました。

そこで注目したのがインドネシア産の縞タコ<sup>(注1)</sup>です。インドネシアは縞タコの漁獲量が多いだけでなく、人口2億5千万人の大きなマーケットが控えています。近年では日本食ブームが起り、タコの刺身やタコ焼きなども食べられるようになっています。また、同国政府が「海洋国家構想<sup>(注2)</sup>」を掲げ、水産業の振興に力を入れていることも事業展開の追い風となっていました。

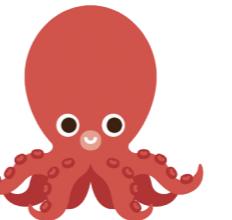
こうした背景から当社は、2014年に中小企業基盤整備機構の支援を受け、インドネシアでの海外事業化可能性調査を実施。その後、より大規模かつ緻密な実証活動を行うために、JICAの民間連携事業などに応募し、2015年より普及・実証活動を行いました。

## 上流から下流までのすべての工程に関わる

本事業の応募前は、現地での加工と日本への輸出をメインに考えていましたが、現地日本料理店のオーナーの方から「上流から下流までのすべての工程に関わらなければ、十分な品質を確保することは難しい」との助言をいただき、急遽、バリューチェーンの構築に取り組むことにしました。

バリューチェーンとは、生産、冷蔵、加工、販売、物流（輸出）等、すべてのプロセスを価値の鎖として捉える考え方です。そこで同国海洋水産省や国営企業参加の水産会社などの協力のもと、漁場開拓から、普及・実証プラントへの機材搬入、技術指導や試験製造、展示会や試験販売の実施まで、バリューチェーン構築に必要な全プロセスに取り組みました。

事業範囲が広くなった分、個々の調整、各種の手続きなどの苦労も増えましたが、JICAやコンサルティング会社の丁寧なサポートと、自国の水産業の振興を目指す現地企業の熱い思いにより、製造実証



インドネシア共和国  
(Republic of Indonesia)  
首都：ジャカルタ  
人口：約2.67億人（2019年）  
(インドネシア政府統計)  
面積：約192万km<sup>2</sup>（日本の約5倍）  
気候：熱帯性気候  
(年間平均気温：約29°C)

## Episode

タコは、頭（本当は胴体）の中に「9つの脳」を持っています。1つの脳が体の各器官を動かすためのもので、残りの8つの脳は8本の足をそれぞれに独立して制御するためのものです。知性も高く、住処の入口を石でふさぐ、ヤシの殻でシェルターを作るなど、計画的行動することが確認されています。

### (注1) 縞タコ

マダコ科のタコ。足に縞模様があることから縞タコと呼ばれています。日本では沖縄県で獲れ、食用にされています。縞タコはよく貝殻などにしがみついているため、沖縄の方言で「シガヤー（しがみつくもの）」と呼ばれています。

### (注2) 海洋国家構想

都市と地方の格差が拡大するインドネシアでは、水産業の振興が格差是正の鍵になるとされています。2014年10月に就任したジョコ・ウィドド大統領は「海洋国家構想」を政策の柱に掲げ、海洋文化の構築や海洋資源の活用、港湾・海運等のインフラの強化などに取り組んでいます。



会社名：株式会社あ印  
本社：茨城県ひたちなか市  
設立：1957（昭和32）年5月  
(法人化)  
代表者：代表取締役 鯉沼勝久  
従業員：150名（2021年1月現在）  
事業内容：蒸しダコ等の海産物  
加工品製造、販売  
<http://www.ajirushi.com/>



## ODA 事業の情報

本記事の事業は、日本政府（外務省）と国際協力機構（JICA）が連携して進める「中小企業・SDGsビジネス支援事業」として採択されたものです。詳しくはJICA「民間連携事業」ページをご確認ください。  
[https://www.jica.go.jp/priv\\_partner/index.html](https://www.jica.go.jp/priv_partner/index.html)

